

つなぐ



<現在の設立状況(28.4.1)>

まちづくり協議会	17 地区
まちづくり協議会準備会	3 地区

Vol. 6

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/machidukuri.html>



▲地域の人と協力して植樹する小学生たち

桜の様子をちょこちょこ見に行っています。3年前に植えた桜がつぼみを付けていて、今年の春に咲きそうです。八竹山からの景色も綺麗なので、ぜひ見に来て下さい。



▲ 別府会計



▲桜と看板

～地域の思い～



正岡地区まちづくり協議会
岡本会長

卒業する子ども達には、苦いとき、辛いときに桜のことを思い出して、一緒にたくましく大きくなってほしいです。そして、大人になって、この正岡地区に戻ってきてほしいです。綺麗に咲いた桜もみなさんを出迎えてくれるはずです。

八竹山を桜の名所として復活させたい

正岡地区まちづくり協議会は、平成24年度から正岡地区にある八竹山の桜の植樹を、正岡小学校6年生の卒業記念行事として始めました。

この八竹山は、かつては桜が満開になり、歩きやすい道も通っていて、地域の方がたくさん遊びに訪れる場所だったそうです。しかし、現在は、桜は枯れてしまい、よく利用していた道も塞がれてしまいました。そこで、正岡地区まちづくり協議会は、以前のように、八竹山を桜の名所として、地域の人に親しんでもらえるような場所に復活させたいと、舗道整備や植樹に取り組んでいます。

参加した小学生は「ハンマーが重かったけど、桜が咲いた頃にまた見に来たい」と楽しそうに話してくれました。

新玉地区

防災大会

3年振りに大復活！！
総勢600名を超えました！

新玉消防分団・城西中学校・河原医療大学校・新玉小学校・済美高等学校など、各方面からのご協力により実現できました。本当に地震が起こったという気持ちで、参加者には、危機対応のノウハウを身に付けていただきたいです。



町別対抗バケツリレー競争の様子。大会では他にも、消防士による実技指導や応急処置の訓練などを行いました。

新玉地区まちづくり協議会
田村会長



炊き出しの美味しいカレーを食べて、冷えた体を温めました♪



炊き出しでは、女性陣が活躍していました！

何百年に1回あるかの災害の対策は、気持ちが緩んでしまうため、この防災大会をきっかけに減災の意識付けができれば良いです。



(左)大塚副会長 (右)末光安全安心部長

災害時どうしたら良いのかを地域の方に話したり、独居高齢者も多いので、避難誘導をしたり、初期消火活動で助けられたらという思いで消防団として活動するようになりました。この大会で、消防団の活動が、地域の方々に目に見える形で分かってもらえれば嬉しいです。



古泉さん

古泉さんは、町内会長として、また消防団員として活躍されています！



新玉消防分団によるポンプ操法操

三津浜地区

防犯カメラの設置

地元企業と協力して、
地域に安全の目を！



愛媛銀行三津浜支店の入り口に設置



住吉公園の安全は守られています。

愛媛銀行さんにご協力いただき、三津浜商店街にある住吉公園を監視できる防犯カメラを設置しています。西署とまち協が協定を結んで運用し、この防犯カメラで常時、地域の安全を守っています。



三津浜地区まちづくり協議会
川本 安心 安全部長

地域の声

防犯カメラが設置されて、とても安心です。



土山さん

生石地区

交通安全マップ

地区の危険場所は
これで一目瞭然！！



近年の事故発生数と発生場所を示しています。多発地点は写真を入れたり、信号機や、カーブミラーの有無、見通しなどの特徴も分かります。



マップ作成中の様子

交通事故がどこで起きているのか分かれば、減らせるのではないかと考え発案しました。子どもから高齢者まで地区の学校や事業所など約50団体に配布する予定です。



生石地区まちづくり協議会
三好 生活安全部長

マップを作成してみて、こんなところで事故が多発しているのかと気付かされる場所もありました。一件でも事故を減らすことに役立てば幸いです。



交通安全協会生石支部
川本さん

桑原地区

まちづくり講演会

「一人ぼっち、寂しくなると人は死ぬ…」
みんなで何が出来るか考えましょう！



愛媛大学農学部の大講義室で、福島県の福島大学うつしまふくしま未来支援センターからお越しいただいた天野特任准教授による「地域を創る～防災のコミュニティをどう築くか～」についての講演会を開きました。いざという時の災害に強いまちづくりを目指す必要性を実感できる講話で、地域の方々の防災意識を高めるきっかけとなりました。

参加者には、人と人がつながる仕組みと地域連携をどのように行うか、さまざまな経験から災害に強いまちづくりの話を聞いて、災害について改めて考えてほしいです。



桑原地区まちづくり協議会
朝山 事務局長

～講演から伝えたいこと～
一人ぼっち、寂しくなると人は死ぬ。避難所では人がつながることが大事なので、日頃から人と人がつながる仕組みを作ることが必要です。

特集

地域の安全安心なまちづくり

地域の安全安心なくして、魅力あるまちづくりを進めていくことはできません。また、東日本大震災がきっかけとなり、全国的にも防災意識が高まってきています。そこで、今回の特集では、地域の安全と安心を守る、まちづくり協議会の取組を紹介します。

雄郡地区

HUG

みんなでHUGしましょう！
HUGして災害に備えます！

今日集まってもらった方に、この経験を地域に持ち帰ってもらって、若い人(学生 親子)に声掛けして来てほしいです。災害時は、自分に来ることを自分で見つけて、進んでやるのが大事。今日はその力を身に付けてもらいました。



防災士の方が中心に集まりました。



各班の発表では、活発な意見交換が行われました。

参加者の声

避難訓練では出来ないリアルで実践的な訓練が出来て良かったです。文句や苦情がない点が現場と違う点でした。



日野林さん



岩田さん

みなさんにも日頃体験してない(できない)状況を事前に知って、勉強してほしいと思いました。運営がどういうふうなことになるか、分からない、不安がられないためにも、みなさんに、ぜひやってほしいです。

周南市ふるさと振興財団が視察に訪れました！

～ 周南市をリサーチ ～

2月28日（日）周南市のふるさと振興財団他約30名が、周南市の各地区コミュニティ推進組織の活動実践者（リーダー）等の育成を目的に、桑原地区まちづくり協議会を視察し、意見交換を行いました。



視察では、桑原地区まちづくり協議会の活動報告や大学との連携について発表した後、周南市ふるさと振興財団の方々と若者の参画について、桑原地区で活躍する大学生を中心に意見交換を行いました。

周南市のまちづくりは？

小学校区で区分された31地区にコミュニティ推進協議会が設立されています。コミュニティ推進組織からなる協議会のことを「周南市コミュニティ推進連絡協議会」といい、ふるさと振興財団が事務局を務めています。

ふるさと応援隊とは？

各地区のコミュニティ推進組織で活動している方々で組織された応援隊のこと。各地区の行事・イベントへの応援参加や、取り組み視察を積極的に行っています。

周南市の若者の参画は？

各地区で活躍する20～40代の若者団体に声をかけ、地区の青年部には、実際にまちづくりに参加してもらっています。青年部の皆さんは、地区に対する危機感があるから参加しているそうです。

若者にまちづくりに参画してもらうためには、危機意識を持ってもらうことが大切です！



まちづくり・市民活動交流会

3月5日（土）まつやまNPOサポートセンターが毎年開催している「まちづくり・市民活動交流会」に、まちづくり協議会のPRブースを出展。また石井地区まちづくり協議会が「いっくん・しいちゃんクッキー」を販売しました。地域で活動する企業やNPOと、まちづくり協議会が交流を深める貴重な機会となりました。



▲大きく可愛いワッギー



鮮やかなオレンジ色のエプロン姿の女性専門部会の皆さんは、とても素敵な笑顔でした！

NPOのプレゼン大会で **優勝** したのは「Share Life Design」の皆様でした！！



副理事長 尾崎さん
理事長 山本さん

昨年は2位で、今年は1位になって、皆さんの期待を胸にこれからも頑張っていきたいです。

Share Life Designは、ライフデザイン事業のシェアハウス運営、留学生生活支援倉庫「シキリヤ」運営を中心に事業をしています。

編集者より♪

杉浦さんは、現職の時には、あまり地域のお世話が出来なかったもので、何かお役に立てればという思いで、まちづくりに関わらせてもらっています。杉浦さんはとても気さくで穏やかな方でしたが、地域への熱い思いはしっかりと伝わってきました。私も桜が咲く頃にまた行きたいなと思いました。



▲八竹山からの眺め
とても見晴らしが良く綺麗でした。

役員を辞められる方の後任を探すのに苦労しています。また、私自身もまち協以外に、地区の役員やスポーツ少年団の指導員などをしているため、まちづくり協議会の活動とも相まって忙しい毎日を送っています。

【抱負】 八竹山での桜の卒業記念植樹や正岡小学校米作り体験学習、ホタルの幼虫の飼育放流など、地域の子ども達が色々な体験を通じて、ふるさとに愛着を持ってもらえるような活動を今後も継続していきたいです。

【苦労したこと】

役員を辞められる方の後任を探すのに苦労しています。また、私自身もまち協以外に、地区の役員やスポーツ少年団の指導員などをしているため、まちづくり協議会の活動とも相まって忙しい毎日を送っています。

【活動して嬉しかったこと】

八竹山の桜の植樹や米作り体験学習など、正岡小学校の生徒たちとふれあう機会がよくあります。そのような時、子どもたちが楽しそうに取り組んでいるのを見るのは、とても嬉しいことです。



第6回 まちづくりで 輝く 人

地域で活躍している人を紹介します



正岡地区まちづくり協議会
事務局長 杉浦 久夫さん

趣味・特技

サッカーやスキーなど、体を動かすことが大好きで、今でも60歳以上のサッカーチームに所属しています。社会人リーグでボールを蹴って、汗を流しています。